

## 淀川河川敷で自転車勉強会 を開催しました



～元自転車プロロードレース選手とともに～

(河川部 河川環境課 ・ 淀川河川事務所)

自転車による地域活性化や河川空間での自転車のあり方などをテーマに、元自転車プロロードレース選手の三船雅彦氏やサイクリストの方々の協力のもと、沿川自治体の方々にも参加頂き、淀川河川敷での自転車歩行者専用道、緊急用河川敷道路で勉強会を開催しました。

### 勉強会概要

■ 日 時:平成31年2月16日(土) 8:45～12:45

■ 場 所: <自転車走行>

淀川河川事務所→淀川河川公園太間地区→さくらであい館

距離約21.4km

<意見交換会>

さくらであい館

■ 事務局:近畿地方整備局 河川部、淀川河川事務所

■ 参加者:36名

- ・三船雅彦氏及びサイクリスト 10名
- ・大阪府・枚方市・高槻市・八幡市職員 10名
- ・整備局、事務所職員(淀川河川事務所、琵琶湖河川事務所、大和川河川事務所、福井河川国道事務所、国営飛鳥歴史公園事務所、奈良国道事務所職員) 16名



### 当日の様子



安全等留意事項の徹底  
(出発前説明)



出発前の準備・安全確認



現地走行中



車止め通行



河川公園内  
(ボール転がりと、飛び出し)



意見交換会前の講話  
(三船雅彦氏)



グループディスカッション



各グループによる発表

#### 【グループディスカッションでの意見】

- ・自転車利用者、歩行者、球技等公園利用者との共存(住み分け)を図る必要を感じる。
- ・走行途中の車止めの役割は理解でき、一旦停止時にその付近に現在地やまち側の案内板があれば、横方向へのアクセスにも繋がると思われる。
- ・速度制限等のルール作れば、危険な利用者に注意がしやすい。ただし、警察による取り締まりも必要と感じる。
- ・共存はモラルという観点もあるので、小さい頃からの啓発が有効ではないか(子ども向けの講習会の開催)



#### 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 河川部 河川環境課

〒540-8586 大阪府大阪市中央区大手前1-5-44 TEL 06-6942-0608